

野田 九条通信

2009年11月号
48

「野田・九条の会」事務局
7122-0502
野田九条の会ホームページ
<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

11月23日は中央公民館へ
（てのおかいいいっしょ）

暉峻淑子講演会を成功させよう！

今年の九条の会の最大の取り組み、暉峻淑子さんの講演会を11月23日（祝）13時半から開催をすることはすでにご存じのことと思います。チラシ、チケットはお手元に届いていますでしょうか。
政権交代から2カ月が過ぎ、鳩山総理大臣の所信表明演説を聞いても、この政権の憲法について

の姿勢や、どんな社会を目指すのかなどはわからないままです。選んだ国民の側の意識も様々ではないでしょうか。
今回の講演会は講師の暉峻淑子さんから、ドイツを例に、誰もが平等に豊かな生活をする事ができる社会とは？、お話ししていただき、私たちがめざす社会を考えて

催をみんなで担うという性格のものです。ご協力をお願いいたします。一枚700円です。

広島・長崎両市長が呼びかける平和市長会議

この「平和市長会議」は、1982年当時の広島市長の呼びかけで設立された国際NGO。核兵器を持つている国も含め、世界で2410自治体に参加、日本でも364都市が参加しています。会議は、2020年までに世界の核兵器をなくすという4段階の計画を提案、核のない世界に向けて自治体という草の根から発信していきます。千葉県では11自治体、近くでは松戸市と我孫子市がこの会議に参加しています。
野田市も参加を考えられないか、次回の定例会で学習する予定です。

九条への想い

「ブッシュ」。オリヴァー・ストーン監督が米元大統領ブッシュの半生を描いた映画です。名門ブッシュ家の落ちこぼれだったジョージは、父になんとかその存在を認められたいと悪戦苦闘するが、どれもうまく行かず、いつも出来のいい弟と自分を比較し

愚かな男の無限大の罪

八王子より 加藤悦子

ては愚痴っていた。そんなダメ男の彼が「神のお告げ」により州知事になり大統領に立候補して、
『フセインの独裁から国民を解放する』という名目のもとイラクに侵攻していった。その大罪が、父に
そして、人々は彼を選んだ。その存在を示したいと願う世紀のKY男の功名心や見栄から出たものだとしたら
9・11以来、アメリカは『テロは攻撃される前に潰す』という姿勢を強め、戦争とは案外こんなこ



「九条への想い」への400字程度の原稿をお待ちしています。

「参加ください」

署名活動 11月9日(月)
PM4時～5時 愛宕駅前
定例会 11月14日(土)
PM2時～4時中央公民館講座室
暉峻淑子講演会
11月23日(月・祝) PM1時半～
中央公民館講堂

九条の眼

「沖縄の犠牲のもとに本土の平和と繁栄が築きあげられてきたことに、本土の日本人は、それをよく認識していないのではないか」

大江健三郎『沖縄ノート』



新政権で沖縄は…

9. 12 東京 銀座～新橋・日比谷

鳩山首相は26日の所信表明演説で、多様な文明の間の架け橋になることを目指し、日本を取り巻く海を「争いの海」にすることなく、友好と連帯の「実りの海」としたいと述べました。まさにそのとおりです。「変革」を掲げて政権交代がなつてこそ、言いうるビジョンです。それを聞いて誰もが、とりわけ沖縄の人々が思い浮かべたのは14世紀以来、武力を頼みとすることなく豊かな海を往来し、中国や朝鮮、東南アジア諸国との交易の要として繁栄した琉球が掲げ、沖縄の人々が育んできた「万国津梁」（世界を結ぶ架け橋）の理念だったのではないのでしょうか。この「万国津梁」の理念こそ、首相の目指す「日本が希望と誇りを持てる国になり、世界の『架け橋』として国際社会から信頼される国」に導く源泉でありましょう。

ところがそうではありませんでした。首相はその基盤となるのは日米同盟であるとしたのです。在日米軍再編については、「沖縄県民の思いを受け止めて取り組む」とするにとどまり、「普天間飛行場は県外、国外移設」や「現行案の見直し」の姿勢が危うくなっています。

事実、政権発足早々、辺野古移設の早期履行を求める「占領軍」意識丸出しのアメリカの恫喝に揺さぶられ、新政権への国民・とりわけ総選挙で基地推進派をすべて落選させた県民の期待と信頼を裏切る発言を、首相、岡田外相、北沢防衛相が日替わりで繰り返しています。ついに27日には北沢防衛相が、海兵隊のグアム移転、給油機の岩国基地への移転で普天間飛行場が持つ一部機能の県外・国外移設は満たされており、代替施設を辺野古に建設したとしても、民主党の主張とは矛盾しないとの信じがたい詭弁を弄するまでになっています。これでは「不沈空母」日本、太平洋の「キーストーン」（軍事拠点）沖縄などと言われてきた従来の枠組み（「争いの海」）から脱却して、国民の命と生活を守る大きな「変革」を成し遂げることは出来ないのではないのでしょうか。

11・8 沖縄県民大会 とともに わたしたちも声をあげよう！

普天間基地 即時閉鎖、辺野古新基地の 断念を求めデモ行進

沖縄は政権交代の今がチャンスと、新政権に大きな期待をかけて基地撤去の実現を求めて立ち上がっています。11月12日に来日するオバマ大統領に、米軍基地反対の意志を伝えるため、11月8日、島ぐるみの県民大会を開催します。沖縄基地の問題は沖縄だけの問題ではありません。戦争で多くの犠牲を押し付け、また戦後は米軍基地の大部分を沖縄に押し付けてきた日本の、そして私たち自身の問題です。未だ確固とした態度をとっていない政府に、沖縄の基地撤去を国民の大多数が望んでいることを示し英断を求めましょう。8日は、沖縄の行動に呼応してデモ行進とアメリカ大使館への抗議行動があります。

<デモ行進> 日時 : 11月8日(日) 午後2時集合、2時30分デモ出発

場所 : 水谷橋公園 (東京都中央区銀座1-12-6)

(有楽町線「銀座一丁目」、銀座線「京橋」、都営浅草線「宝町」)

<米大使館 抗議> 日時 : 11月8日(日) 午後4時集合、4時30分抗議・申し入れ

場所 : アメリカ大使館前 (東京都港区赤坂1-10-5)

(銀座・南北線「溜池山王」、丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前」、日比谷線「神谷町」)

普天間基地問題とは

1995年9月に起きた少女乱暴事件を契機に、米兵犯罪の撲滅、基地の整理縮小、不平等な日米地位協定の改定を求めた県民の闘いによって、アメリカ軍も認める世界一危険な普天間基地の返還が約束されました。しかし、その代わりという名目で、日米軍事同盟再編計画に沿って、普天間基地以上の機能を付加した凶暴な新出撃基地が県内、名護市辺野古に建設されようとしているのです。